

「しあわせ」を感じる仕事です。

# 介護福祉士(ケアワーカー)

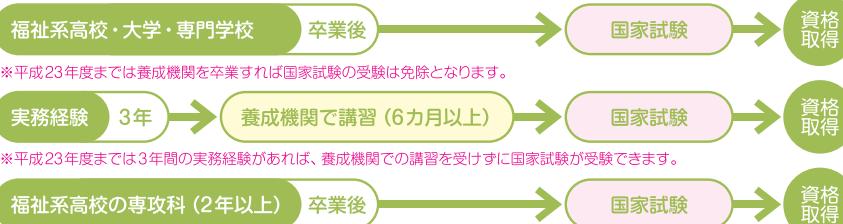


高齢者や障がいのある人の心身の状況に応じた介護を行います。食事や入浴、排せつなど日常生活をサポートとともに、家族の方には介護のコツやポイントを伝えます。近年、社会の急激な高齢化にともない、ニーズが大きく高まっています。



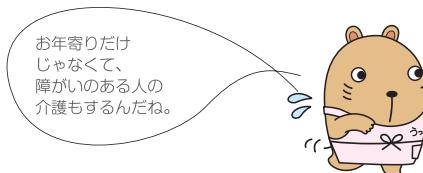
## ●介護福祉士になるには?

介護福祉士は国家資格です。資格がなくても介護施設などで働くことは可能ですが、正社員や常勤としての採用を望む場合は、資格を持っていたほうが有利。資格を取るには養成機関で学ぶか、3年以上の実務経験を経て国家試験に合格しなければなりません。



## ●働く場所は?

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など高齢者向けの福祉施設をはじめ、障がいのある人が利用する施設などで働きます。また、グループホームやヘルパーステーション、デイサービスセンターなどでも活躍できます。



## ●将来のキャリアアップは?

介護の現場でケアワーカーとして経験を積み、介護支援専門員(ケアマネージャー)<sup>\*2</sup>をめざすこともできます。また独立してグループホームなどを開設したり、介護福祉士の養成学校で教員になることも可能です。



利用者さんの笑顔をみると、  
しあわせな気持ちになります。  
特別養護老人ホーム 緑陽園  
介護副主任  
酒井 司さん



施設には認知症の利用者さんなどコミュニケーションが難しい方もいますが、毎日一緒にいると仕草で何を求めているのかわかってきてます。適切なケアをすると、本当にいい顔をして笑ってくれるので、こちらもしあわせな気持ちになるんですよ。介護の仕事は時間が不規則だったり、夜勤があつたり大変なイメージがありますが、それを上回るやりがいがあると思います。

\*1【試験センター】(財)社会福祉振興・試験センター(<http://www.sssc.or.jp>)

\*2【介護支援専門員(ケアマネージャー)】介護保険制度に基づき、ケアプラン(介護の計画)をつくる専門家

介護はもちろん、家事全般もお手伝い。

# 介護員（ホームヘルパー）

毎日の生活に困難を抱えている高齢者や障がいのある人の自宅を訪問して、食事や着替え、入浴や排せつ等の身体介護を行ったり、掃除、洗濯、買い物の、調理などの生活援助も行います。誰もが住み慣れた地域で暮らしていくためには、ホームヘルパーが欠かせません。



## ●介護員になるには？

ホームヘルパーは国家資格ではありません。国が定めた「介護員養成研修」を修了すると、修了証明書が発行されホームヘルパーとして働くことができるようになります。2級、1級、介護職員基礎研修の3つの課程があります。

**2級 課程** ホームヘルパーの知識と技術を修得します。(研修130時間)

**1級 課程** 2級課程修了者を対象とします。(研修230時間)

※平成24年度より介護職員基礎研修に一元化される予定です。

介護職員基礎研修課程 サービス提供責任者としてより専門的な知識・技術を学びます。(研修500時間)



## ●働く場所は？

訪問介護サービスを提供している事業所から受け持ちの家庭を訪問するのが一般的です。訪問介護だけではなく、特別養護老人ホームなどの高齢者の福祉施設やデイサービスセンター、障がいのある人が利用する施設で介護を担当することも可能です。



## ●将来のキャリアアップは？

1級課程を修了すると、訪問介護事業所のサービス提供責任者<sup>※</sup>になれます。介護職員基礎研修を修了すると、利用者とヘルパーのコーディネートや、後輩の育成指導も任されます。さらに経験を積んで、介護福祉士の国家試験をめざすことも可能です。



自宅に伺い、深く関われる。  
それがヘルパーの魅力です。  
(株)シムス ヘルパーステーション はばたき  
ホームヘルパー  
瀬川 小由里さん

高齢者や障がいのある方のお宅に伺い、家事や入浴などをお手伝いするのがヘルパーの仕事です。最初はお互いに緊張したり遠慮したりしますが、そのうち信頼関係が生まれてきて、私を心待ちしてくれるようになるとうれしいですね。住み慣れた自宅で暮らしたいという願いを叶えるための支援ですから、その方の人生や人間性にふれられるのが、この仕事の魅力です。

※【サービス提供責任者】医療機関やケアマネージャーとの連絡調整や、他の訪問介護スタッフの指導などを行います。